

武雄市への多大な寄附へ感謝

8月5日、武雄工業団地で操業されている豊田合成株式会社より、LED防犯灯40基とLED電球576個を武雄市へ寄贈していただき、寄贈式が地元若木公民館で執り行われました。

LED防犯灯40基は若木町本部地区の中学生が通学路として利用している市道に設置され、防犯灯全てをLEDに切り替えることができました。

また、LED電球については、地区公民館、消防格納庫、市施設等で活用される予定です。

まさに「地域を照らす」取り組み、本当にありがとうございます。



九州新幹線西九州ルートの工事が着々と進んでいます

8月1日、九州新幹線西九州ルート『大草野トンネル他工事』の安全祈願が執り行われ、地元地権者の代表者をはじめ約100名の方が出席されました。

この工事は大草野トンネル及び橋梁を主体とする工事で、東川登町宇土手区天竜庵から嬉野市塩田町大草野におよびます。平成34年の開業予定に向けて着々と工事が進んでおり、市では開通までに、新幹線を活かしたまちづくりに取り組んでいきます。



雄武と武雄の絆！雄武町児童交流訪問回、武雄市へ

不思議なご縁の友好都市、名前の良く似た北海道雄武町（おうむちょう）の児童交流団（児童16名・引率4名）が、7月28日から30日まで滞在されました。

到着後は、朝日小学校での児童との交流会、ホームステイなどが実施されました。雄武町の子どもたちを受け入れたのは、今年の2月に武雄市から「交流団」として雄武町に派遣された児童とその家族。

遠くはなれた両都市間の交流は、貴重な経験を育む機会として続けていきます。

ICTの活用に関する連携協定を締結！

8月11日、唐津・伊万里・武雄3市による市民サービス・福祉の向上を図るために、情報通信技術を活用した施策実現に向け、「ICTの活用に関する連携協定」が締結されました。

締結式の中で樋渡市長は、「武雄市は特にこの4年、単独で教育を中心にICT化を進めてきたが、一つの市だけでやると限界が見えてきた。そういう中で唐津市長にお声掛け頂き、3市で連携することとなった。それぞれ独自の取組みがある中、連携し、スケールメリットを活かすことで、よりよいICTの活用ができる。県とも連携しながら、点から線、そして、面へ発展させていきたい。」と、その重要性に触れました。

本協定をもとに、ICT推進協議会が設置され、各部門で議論・情報交換が行われます。



会長／坂井俊之 唐津市長(写真左)
副会長／塚部芳和 伊万里市長(写真中央)
事務局長／樋渡啓祐 武雄市長(写真右)
協議会顧問／森本登志男 佐賀県最高情報統括監

